

# 授業科目 小児言語障害学演習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	言語
山 岸 達 弥、渡 辺 時 生		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 言語発達障害の鑑別・診断・評価を修得する。 検査の種類とその利用、検査の実際（施行、採点、解釈、翻訳）と報告書の書き方を修得する。 指導の諸技法、指導のためのプログラムを修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 各種検査を理解し、適切な検査法を実施できる。 2. 指導法について理解し、実践できる。 3. 検査の施行、採点、解釈、翻訳（報告書を含む）の各段階を実施できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	検査の実際（1）			1・3	演習
2	検査の実際（2）			1・3	演習
3	検査の実際（3）			1・3	演習
4	検査の実際（4）			1・3	演習
5	検査の実際（5）			1・3	演習
6	検査の実際（6）			1・3	演習
7	検査の実際（7）			1・3	演習
8	検査の実際（8）			1・3	演習
9	指導法の実際（1）			2	演習
10	指導法の実際（2）			2	演習
11	指導法の実際（3）			2	演習
12	指導法の実際（4）			2	演習
13	指導法の実際（5）			2	演習
14	指導法の実際（6）			2	演習
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況(20%)、レポート(30%) 期末試験(50%)			【履修上の留意点】 演習時には他人任せにせず、各自積極的に参加すること。		